

平成22年度 第2回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 平成22年6月25日（金） 15:30～17:00

場 所 鳥取大学事務局棟3階 第1会議室

出席者 安藤委員、岡本委員、柴田委員、長谷川委員、古澤委員、吉岡委員、
能勢委員、林委員、本名委員、岩崎委員、小林委員、井藤委員、
豊島委員

欠席者 平井委員

[陪席者] 山根監事、萩原副学長、岸田副学長、清水副学長、若副学長、
田中工学研究科長、中島農学部長

議事に先立ち学長から、第1回経営協議会で承認を得た平成21年度決算及び平成23年度概算要求について、文部科学省へ提出した旨の報告があった。

今回の議題である平成21年度業務実績報告及び中期目標期間の評価についても6月末までに提出する予定であることから、委員の皆様からご意見を賜りたい旨挨拶があった。

また、学長から、長谷川委員が、文部行政事務功労として瑞宝中綬章を受賞された旨報告があった。

議 題

1. 平成21年度業務実績報告及び中期目標期間の評価

小林副学長から、6月末までに文部科学省へ提出予定の平成21年度業務実績報告及び中期目標期間の評価について、資料1、2及び別冊資料I～VIIに基づき、説明があった。

業務実績報告については、第1期中期目標期間6年間の活動を整理したものであり、教育については学長のリーダーシップの下で教育重視の改革を行ったこと、研究については本学の得意分野へ選択と集中を行い重点的に取り組んだこと、社会連携については教育研究の成果を反映させ、地域に密着した取組を行ったこと、財務については6年間通して健全な経営を行ってきたこと等報告があった。

中期目標期間の評価については、平成16～19年度についての暫定評価をもとに、平成20、21年度の2カ年の評価を行い、教育活動及び研究活動について評価水準の引き上げを申請する旨等説明があり、審議の結果、最終的には学長に一任することで承認された。

— 委員の主な意見等 —

- ◇ 古澤委員から、業務実績報告書において就職支援体制を強化しているとのことであるが、就職に関する具体的な数値を示してほしい旨の意見があり、本名理事から、平成21年度における学部学生の就職率は94.8%、大学院生の就職率は98.0%と全国的にも高い就職率となっており、平成22年度からはキャリアセンターを設置して、学生に対する一層の支援を行うこととしている旨説明があった。
- ◇ 岡本委員から、高い就職率となっているが、学生の希望と就職先とのマッチングは図られているかとの意見があり、本名理事から、内定時の学生の評価としては、就職支援に関するアンケートの結果等により、希望した職種であり満足しているとの回答を得ている旨説明があった。
- ◇ 安藤委員から、学生の人間力の評価について、具体的に数値化したデータを示すことは可能かとの意見があり、本名理事から、人間力の数値化については現在取り組んでいるところであるが、学生一人一人の基準が異なるということもあって未だ数値化できておらず、引き続き検討を行っていく旨説明があった。
また、安藤委員から、人間力の数値化を行った際には、他大学のものと相互比較し、改善を行ってはどうかとの提案があった。
- ◇ 安藤委員から、地域社会との関わり観点から、地元の就職率の数値を示し、その向上へ向けた対応策等を明記してはどうかとの提案があった。

報 告

1. 鳥取大学外部評価

小林副学長から、資料3及び別冊資料Ⅷに基づき、第一期中期目標・中期計画において受審することとしていた外部評価を平成22年2月に実施した旨報告があった。

外部評価による改善すべき点として、広報活動について、その情報が誰に向けて何のために発信されているかを意識する必要があること、工学部の留年者について、根本的な対応策の検討が必要であること等、指摘を受けた旨説明があった。

2. 医師救急医療等従事手当の新設

萩原副学長から、資料4に基づき、医学部附属病院において、医師が深夜又は休日に救急医療等に従事した場合の手当を支給するため、医師救急医療等従事手当を新設する旨報告があった。

3. 平成21年度資金運用実績

萩原副学長から、資料5に基づき、平成21年度の資金運用実績について、昨年度と同様に様々な形態で積極的に運用を行っているものの、経済情勢の悪化等により金利が低下しており、利息収入が前年度と比較して約1000万円減少した旨報告があった。

4. 平成22年度学長経費の採択状況

林理事から、資料6に基づき、平成22年度学長経費の採択状況について、第1次・第2次採択をあわせて約1億6千万円のプロジェクトを採択しており、今後は第3次採択、トップマネジメント経費の採択を予定している旨報告があった。

5. その他

・大学の動き

学長から、資料7に基づき、今年度4月から6月までの大学の動きについて報告があった。

・平成22年度イノベーションシステム整備事業の採択について

林理事から、席上配付資料に基づき、地域イノベーションクラスタープログラム【都市エリア型】に、「創薬及び食品機能性評価モデル動物等の開発に係わる染色体工学研究拠点形成」が採択された旨報告があった。

・学長選考会議について

萩原副学長より、次回の経営協議会後に学長選考会議を開催する予定としている旨報告があった。

最後に学長から、今後も引き続き委員の皆様から様々なご意見、ご指導、ご協力を賜りたい旨挨拶があった。

以上